

様式第3 (第6条関係)

特定施設の種別及び能力ごとの数
変更届出書
特定施設の使用の方法

令和 年 月 日

(宛先) 鈴 鹿 市 長

住 所
届出者 氏名又は名称
及び代表者氏名

印

特定施設の種別及び能力ごとの数
振動規制法第8条第1項の規定により、
特定施設の使用の方法
の変更
について次のとおり届け出ます。

工事又は事業場の名称			※ 整 理 番 号					
工場又は事業場の所在地			※ 受 理 年 月 日		令和 年 月 日			
			※ 施 設 番 号					
			※ 審 査 結 果					
			※ 備 考					
特定施設の種別	型式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)

- 備考 1 特定施設の種別及び能力ごとの数又は特定施設の使用の方法に変更がある場合であつても、振動規制法第8条第1項ただし書の規定により届出を要しないこととされるときは、当該特定施設の種別については、記載しないこと。
- 2 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 5 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。